

# 広報 やまこし

1985  
12月  
第210号

■発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話 (0258) 59-2330 ■印刷/大川印刷株式会社 ■12月5日発行



村の歴史の集大成

## 村史『通史編』

好評発売中

昭和五十二年から八年あまりかけて進められた村史編集事業が完了し、山古志村史『通史編』を発売しました。

「村の歴史の集大成」といえる

もので、古代から現代までの山古志村の様子を、資料をもとにまとめたものです。村の自然、民俗も載せました。約千ページで、身近で親しみやすい内容、しかも読

### お知らせ

みやすく書かれています。現在、村内外から多数の申し込みをいただいております。今月から配布を開始しますが、ぜひ一世帯一冊ずつ備えていただきたいと思っております。また、村内出身者等にもお勧めください。

◇山古志村史『通史編』

頒価 五、〇〇〇円(送料別)

村内一世帯一冊に限り特別価格



- 三、〇〇〇円でお頒けしていますので、ぜひ申し込みください。
- また、既刊の『史料編』(二冊セット五、〇〇〇円)、『民俗編』(一冊二、五〇〇円)も在庫がありますので、まだお求めでない方は、この機会に揃えてください。
- ◇
- ◇山古志村史『通史編』の構成
  - 第一編 山古志の自然
  - 第二編 山古志のむかし
  - 第三編 近世の山古志
  - 第四編 近代の山古志
  - 第五編 近代山古志の再編
  - 第六編 現代の山古志
  - 第七編 山古志の民俗

(申し込みは総務課へ)

『新潟県史』は、来年三月新たに二巻を刊行します。

## 新潟県史

予約募集中

※なお、既刊の二十三巻も在庫があります。

▽申込先

950 新潟市新光町四一

新潟県総務部県史編さん室

▽申込方法—官製はがきに住所氏名、購入巻名、冊数、公私用別、電話番号を記入して、お申し込みください。

## 健康相談

～日ごろから心と身体の健康管理を～

期 日	会 場	時 間
12月19日(木)	種 苧 原 上 村 担 手 セ ン タ ー	10:00～15:00
20日(金)	虫 亀 集 落 セ ン タ ー	10:00～12:00

## 老人福祉相談指導員に

### 星野仲次郎さん



老人福祉相談指導員に、故関三吉さんの後任として、星野仲次郎さん(70歳、二丁野)が10月1日就任しました。

「ひとの心の温かさ」——今年も恒例の「歳末たすけあい運動」が十一月いっぱい行われます。正月をひかえて、生活に困っている世帯、恵まれない子供やお年寄り、体の不自由な人などのため「善意の募金」をお願いします。(目標額 一世帯四百円)

### 歳末たすけあい運動



## 「公給領収証」を受け取りましょう



忘新年会のシーズンです。会計の際は、『公給領収証』を受け取りましょう。(長岡財務事務所)

## 役場の年末年始休暇

年末年始の休暇で、十二月二十九日(日)から明年一月三日(金)まで、役場、診療所、保育所の平常業務を休ませていただきます。戸籍の届出、急用の方は、当直の職員にお申し出ください。(総務課)

## 子供たちは元気いっぱい

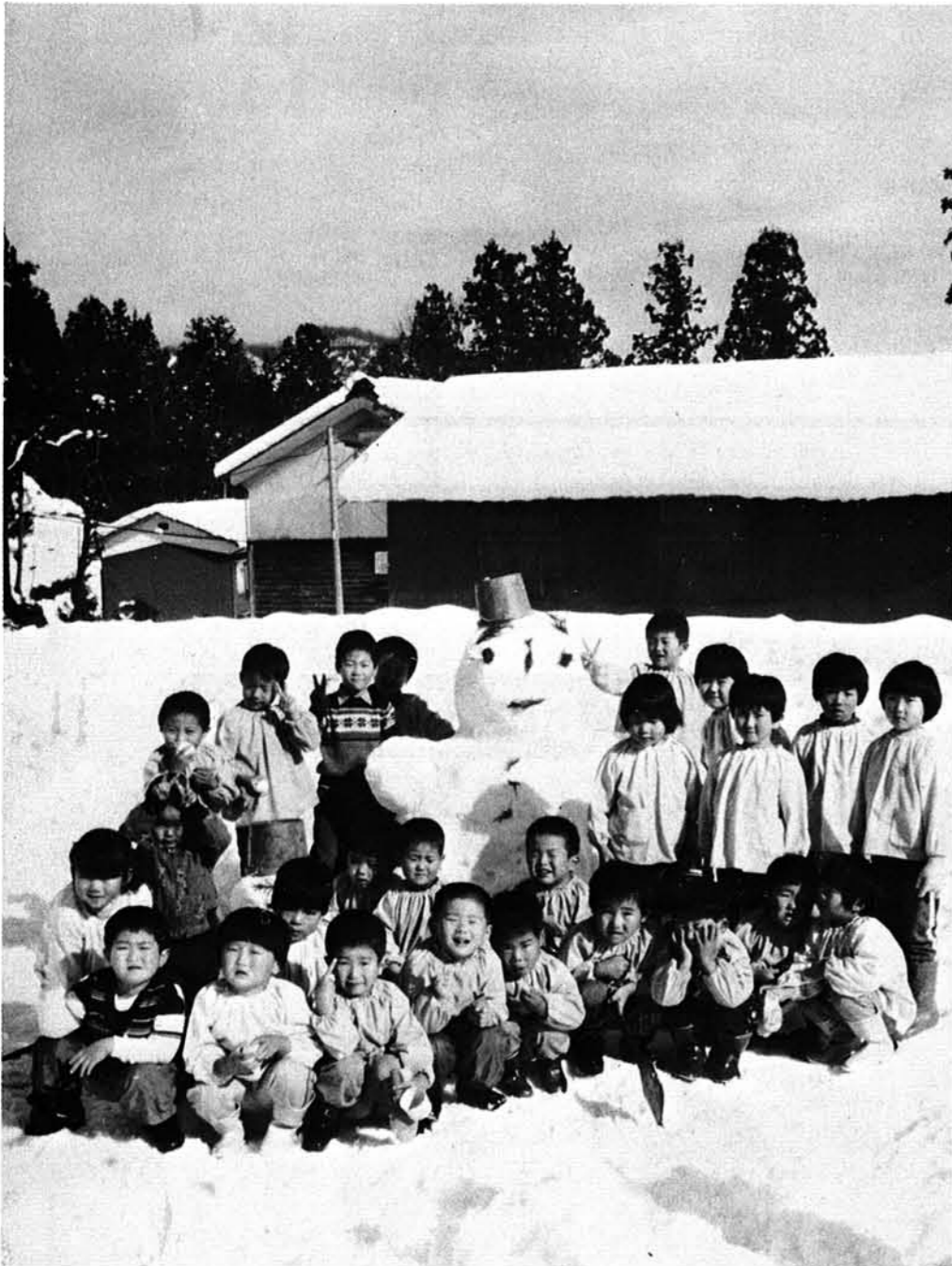
### 61年度保育所の入所申し込みを受け付けます

来年度の保育所児童の入所申し込みを受け付けています。希望者は忘れずに申し込みください。▽対象者…両親や祖父母等が就

労、病気などにより家庭で保育ができない場合で、保育を希望する人。

▽受付期間：12月1日～15日

▽申込場所：役場住民課、または次により出張受付を行います。印鑑と健康保険証を持ってきてください。  
・12月9日(月)種苧原保育所  
・10日(火)虫亀保育所  
・11日(水)竹沢保育所  
(時間は9時～12時)  
▽申込用紙は、役場、保育所にあります。



▲種苧原保育所で、11月27日、今シーズン初めて雪だるまをつくりました。約40センチ積もった雪に陽がまぶしく反射する中、保母と児童で、大小2つ完成。腰まで白くして雪やぶをこざいている子もいました。

# 村政 功労者

## 村の発展に尽くされた 9人、1団体を表彰



賞状を受ける種苧原バドミントン・スポーツ少年団



十一月三日文化の日に、村政功労者の表彰式が、役場で行われました。村の発展に尽くされ功績のあった九人、一団体に表彰状または賞状が授与されました。

- 村政功労者を十二年以上務め、村の発展に尽くされた。
  - 権沢 松雄さん(種苧原)61歳
  - 佐藤 武一さん(虫)65歳
  - 五十嵐 秀夫さん(リ)57歳
  - 坂牧 正憲さん(種苧原)47歳
- 村商工会役員を十年以上務め、商工業の発展に尽くされた。
  - 坂牧 惣吉さん(種苧原)57歳
- 村消防団員を二十年以上務め、消防防災活動に尽くされた。
  - 権沢 善一さん(種苧原)43歳
  - 権沢 正利さん(リ)39歳
  - 齋藤 勝也さん(池)42歳
  - 増田 久作さん(小松倉)45歳
- 今年の県スポーツ少年団バドミントン大会で男女そろって優勝するなど、優秀な成績を収めた。
  - 種苧原バドミントン・スポーツ少年団(団員49名)

## 60年秋の叙勲

佐藤 久さん(前村長)が受章  
五十嵐久代さん(村保婦)



昭和十七年に保健婦となり、旧太田村から引き続き現在まで四十三年あまり、村の保健衛生の推進に尽くされました。

### 勲六等宝冠章

五十嵐久代さん (虫亀、六十三歳)

### 勲五等瑞宝章

佐藤 久さん (種苧原、七十八歳)



昭和六年以来三十三年間県職員として勤務、農業改良普及員を務め

て県の農業発展に尽くされました。この間、昭和三十三年から三十八年まで山古志地区農業改良普及所長となり、村の稲作、畑作、錦鯉、畜産などの振興に寄与

昭和十七年に保健婦となり、旧太田村から引き続き現在まで四十三年あまり、村の保健衛生の推進に尽くされました。とくに、伝染病や結核の撲滅、乳児死亡率の改善、寄生虫の駆除、成人病対策などに力を入れ、検診率の向上や事後指導の推進、食生活改善を進め、高い成果をあげられています。また、山間豪雪地にあつて交通の不便や医療機関不足が続いた中、訪問指導や健康相談、衛生教育に精力的に取り組まれました。村民との対話と信頼関係を確立しながら、村民の健康管理に果たした功績は高く評価されています。

## 「初めは気が重くてこわかったが、やってみると最高」

### おじやまごいます 54

坂牧 一作さん・和子さん 種苧原



十一月十九日、村民会館で初めての結婚披露宴が行われました。新郎は坂牧一作さん。新婦は堀之内町生まれで現在実家が湯之谷村の和子さん(旧姓「星野」)です。

「初めは種苧原の温泉センターで気楽にやろうと思っていた」という一作さん。ところが、仲人の坂牧菊松さんが、「一生に一度のことだから、思い切って村民会館でやろう」と。

十一月過ぎに到着。畳の会議室で結婚写真を撮り、披露宴は大ホールの。新郎新婦含めて五十二人ですが、ゆとりは十分ありました。「やってみると最高。役所のイメージなんか全然なく、むしろ役場の人から大勢出迎えてもらって

張り合いがあつたほどです。広くて、きれいで、役場から演出してもらい、時間的に楽だし、それに安上がりです。落ち着けて気も楽で、お客さんみんなからも喜んでもらえました。友達なんか「こないだ結婚式は初めて」と言ってくれたほどです。仲人さんもすごく喜んでくれました。

「私も年が年だから……。実家でも早くすれって言うし。ところでどういうわけか、私の方が一目惚れしたなんてうわさが立つてしまつて……。和子さんは一作さんの「気持ち、優しさ」、一作さんは和子さんの「すなおさ、思いやり」が気に入つたとのこと。子供は最低二人、明るい家庭にしたいといひます。「親子イコール友達、そんな何でも話せるような家庭が理想です」と和子さん。



四日後の十五日に結婚が決まり、十月六日結納、翌七日入籍、そして十一月十九日に挙式——スピード結婚というより超特急結婚です。和子さんは、

# 献血にご協力 ありがとうございました ございました

11月11日の献血で、次の79人（不採血者含む）からご協力いただきました。善意の献血に感謝します。

- 種芋原 (敬称略)
- |       |        |
|-------|--------|
| 平沢 昭子 | 坂牧 忍   |
| 金内由美子 | 坂牧由紀子  |
| 小川 清  | 樺沢 滝衛  |
| 草間 幸喜 | 小川 善幸  |
| 佐藤 紀夫 | 坂牧 光秋  |
| 小沢 和之 | 小幡 正夫  |
| 坂牧ハルイ | 小川トキ子  |
| 小川ますえ | 中島 文夫  |
| 山口 博  | 川上 卓夫  |
| 山口 清一 | 佐々木道夫  |
| 坂牧 忠雄 | 小川 六一  |
| 小川 浩二 | 長谷川勝弘  |
| 樺沢 勝男 | 加藤 秀晴  |
| 樺沢 和子 | 小川江里子  |
| 小林 秀子 | 樺沢三次郎  |
| 坂牧日出男 | 小川 作男  |
| 坂牧あき子 | 坂牧徳三郎  |
| 草間 頼雄 | 坂牧 イミ  |
| 草間 綾子 | 米岡 祐三  |
| 坂牧 広志 | 小川 藤雄  |
| 坂牧 良一 | 長谷川美恵子 |
- 虫 亀
- |       |       |
|-------|-------|
| 長島イウ子 | 斎藤ハル子 |
| 酒井 一郎 | 佐藤 丈平 |
| 五十嵐健二 | 酒井 正史 |
| 酒井 和治 |       |
- 南 平
- |       |       |
|-------|-------|
| 斎藤 末松 | 青木 祐子 |
| 竹 沢   |       |
| 川上 敏郎 | 星野 京子 |
| 星野 等  | 関 洋一  |
| 星野フジエ | 斎藤 隆  |
| 青木 サト | 星野 清剛 |
| 高橋 武俊 | 小池 一雄 |
| 星野 丑松 | 関 幸雄  |
- 東竹沢
- |       |       |
|-------|-------|
| 五十嵐 務 | 五十嵐喜代 |
| 関 勝   | 松崎六太郎 |
| 小川喜太郎 | 上田 清作 |
- 村 外
- |       |       |
|-------|-------|
| 高野 昇  | 影山 勝弘 |
| 小川美佐子 | 星野 武男 |
| 五十嵐 誠 | 菊入 淳  |
| 樺沢 志信 | 志田 俊信 |
| 山内 昭  | 山内 義雄 |

## ↓村民文化展に330点

11月1日～5日、村民会館大ホールで。絵、書、焼物、手芸など、一般201点、小中学生130点の作品が展示されました。



## ↑臨時喫茶店『なにもねえど』

11月3日、連合青年会が村民会館喫茶談話室で。コーヒー、紅茶、ミルクだけはあり、150杯ほど出ました。



## ↑茶 会

11月3日午後、茶道講座の総仕上げとして、村民会館8畳の和室で。4回に分かれて約50人が参加。産業まつりのバザーを終えて来たおかあさん、かしこまっておそるおそる茶わんを手に一「お茶はおいしかったけど、ね」。

の即売品の量が必要」  
 「来年は、午後から闘牛もあるし、開催時間を短くしてもいいのでは」  
 「駐車場の整理を考えないと」  
 「品評会に出品したものは、非売品がないようにすべきだ」  
 「入賞者名簿を張り出したら」  
 「山芋とかゆりとか、人気のあるものは、せり売りにしたら」  
 「生改グループなどで、漬物とか珍しい料理を出して、試食したり即売したりすればいい」  
 「(農高の) 生きたかもが売れ

なかつたが、今度はかも汁なんかもいいんじゃないか」  
 ◆産業まつり入賞者(一)は入賞数  
 ー農産物品評会金賞ー  
 小池彦衛(二)、星野広明(二)、高橋生二、星野祐二、小川八一郎、齋藤一、畔上義一、畔上定吉、川上正吾、川上利栄、五十嵐力蔵、長谷川東助、齋藤直利、影山惣一、平沢武次郎、小池正夫、小川オヨ、

高野政司 (二)の外銀賞四十点  
 ー錦鯉幼魚品評会金賞ー  
 藤井才智(二)、星野重行、金内誠司、金子隆、高野耕作(四)、星野要一、小川喜八郎、青木乙一、長島元三郎、石原貞作、藤井元一、五十嵐力蔵、田中良宗、星野富吉、川上幸治、青木毅 (二)の外銀賞四十点

社会福祉協議会へ 寄付  
 ◆商工会青年部・婦人部 二万円  
 ー産業まつりガララク 夕市売上金の一部 一万六千五百円



# 人、ひと、ヒト... にぎわった 産業まつり

役場・村民会館前に  
1,000人あまり入場

十一月三日の文化の日に開いている産業まつり、第九回を迎えた今年も天候に恵まれました。今年から会場を役場・村民会館前で行い、即売を中心に内容を盛りだくさんにしました。



た。また、錦鯉幼魚品評会には、百四十三点が出品され、午後から入賞鯉のせり市が開かれました。即売会では、農協や農高の野菜、民芸品クラブのワラ細工、桂谷のアワモチ、池谷のレンコンと牛乳

朝八時半の開始から大勢の人がつめかけ、入場者は千人を超え、大にぎわい。前日に新聞折り込みのチラシでPRしたこともあり、村外からも来場しました。



例年どおり行われた農産物品評会は、天候不順の影響と今年は即売に重点を置いたこともあり、出品二百六十三点と大きく減少。しかし、夏の日照り、秋の長雨にもかかわらず、優秀品がそろいませ

## 来年に向けて...

このように、天候に恵まれ、盛況となりました。しかし、新しい会場ということもあって、課題も残されています。来年に向けて産業まつり実行委員会の反省会が開かれ、次も今年と同じ期日・会場でやろうということになりましたが、ここでの意見を拾ってみましょう。

桂谷農家組合のアワもちつき

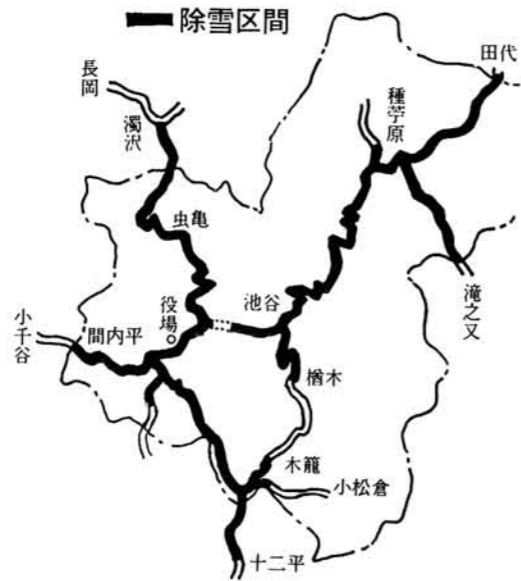


新しい会場ということもあり、賞品代、ポスター・チラシのほり、懸垂幕の作製、テント等借り上げなど、八十八万円かかっています。

なお、同日は村民会館内で、村民文化展、茶会、臨時喫茶店も開かれました。



# 除雪にご協力ください



国県道除雪路線	担 当
第2種 間内平～桂谷	大久保土建
第3種 濁沢～十二平	〃
〃 〃～二丁野	〃
〃 梶金橋～木籠、雪中隧道	〃
〃 桂谷～種芋原	役 場
〃 池谷～檜木	〃
〃 種芋原～田代	大久保土建
〃 〃～学校	〃
〃 〃～滝之又	〃

村道除雪区間、圧雪区間は例年どおり、積雪の状況等を考慮しながら村有機械で作業する。

いよいよ雪のシーズンです。またこの「白魔」との闘いが始まりました。この雪を克服する第一のキメ手が除雪です。冬足の確保は、私たちの生活を左右する重要な「生命線」となっています。村でも、十二月から除雪対策本部(本部長―助役)を設け、除雪・圧雪に万全を期していますが、

皆さんの協力があつてはじめて体制をフルに発揮できます。一人一人が積極的にご協力くださるようお願いいたします。

◇ 路上駐車はしないでください。除雪作業に支障を与えるだけで

なく、交通がストップしたり、事故の原因になります。また、十二月から、除雪区間は駐車禁止です。

◇ 道路に雪を捨てないでください。ただでさえせまい雪道です。玄関や車庫の雪はらひは、交通に支障のないように。

◇ 道路沿いの屋根の雪おろしは、連絡をとりあつて一斉作業をしてください。その際は、必要により交通規制することもあります。

◇ なたれが発生して、通行できないとか危険な場合などは、すぐに連絡してください。

◇ 村除雪対策本部  
役場建設課内 ☎(59)2330  
○県道除雪委託業者  
株大久保土建 ☎(59)2206

◇ 除雪車は大型で小まわりがききません。作業中は危険ですので、指示があるまで人も車も手前まで待機してください。



池谷・種芋原間のスノーシェード内に、十一月二十二日から、災害防止用の公衆電話が、冬期間だけ設置されています。  
(電話番号59-3304)

## 虫亀集落センター完成

虫亀集落センターが完成し、11月6日に160人が集まって竣工式を行いました。鉄骨造り2階建、延280㎡で、大会議室は64畳あります。ここで集落総会なども行うことができ、集落発展のために活用されます。



## 混成バレーボール大会 東竹沢チームが初優勝

十月三十一日から十一月十二日まで、第五回混成バレーボール大会が、山古志中学校体育館で開かれました。

八チームが参加。一チームに女性以上三人居ます。実力は伯仲しており、とくに高校生が活躍しました。

優勝 東竹沢チーム 七戦全勝  
二位 三がチーム 六勝一敗  
三位 竹沢ポロンポロン 五勝一敗



## 大倉修吾講演会

11月5日、村民会館で、BSNラジオ『ミュージックポスト』でおなじみの大倉修吾さんの講演会が開かれました。主催は商工会青年部・婦人部で、70人の聴衆が集まりました。

『私の放送人生より』をテーマに、ユーモアたっぷりの口調で、いろいろなエピソードや家庭教育の話などをしました。

## 一般会計

(単位 千円)

科 目	入		出	
	予算額	収入済額	予算額	支出済額
村 税	78,120	40,825	議 会 費	38,907
地方譲与税	18,400	2,695	総 務 費	250,174
自動車取得税	10,000	4,283	民 生 費	107,109
交付金	846,076	626,952	衛 生 費	59,915
交付金及び金	12,481	6,437	労 働 費	279
負担金	4,364	2,222	農林水産業費	166,524
使用料	79,041	10,594	商 工 費	19,609
手数料	90,995	7,240	土 木 費	175,287
国庫支出金	20,805	13,166	消 防 費	21,226
県支出金	1	0	教 育 費	180,701
財産収入	49,801	49,000	災 害 復 旧 費	124,698
寄附収入	36,811	36,811	公 債 費	253,139
繰越収入	62,367	9,805	諸 支 出 金	1
繰上収入	113,300	0	予 備 費	24,993
合 計	1,422,562	810,030	合 計	1,422,562

昭和六十年度上半期(九月末まで)の財政状況をお知らせします。別表のとおり一般会計では、予算額に対し、収入済額五六・九%支出済額三三・四%となっています。この後、国県支出金、村債などが入り、工事請負費などの支払いが行われ、健全財政が確保されることになっていきます。

**村の財政状況をお知らせします**  
(九月末現在)

## 特別会計

(単位 千円)

	国民健康保険	山古志村診療所	虫亀診療所	種芋原診療所	歯科診療所	老人保健
予 算 額	236,716	15,758	12,887	30,763	25,001	173,380
収 入 済 額	89,380	7,495	5,786	12,629	13,091	70,650
支 出 済 額	86,126	6,501	4,740	10,580	10,865	61,252